

中国製 CH-4 型無人機を旧ソ連圏国家に輸出

漢和防務評論 20170904(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

ロシア及び旧ソ連圏は、ロシア（旧ソ連）の兵器市場であり、中国製兵器を買うことは従来考えられないことでした。
しかし今後、中国製兵器の性能向上にともなって安かろう悪かろうの印象が払拭され、コスパの点から見直される方向に進むと考えられます。
中国としてもロシアに対し対等の立場を確保するためにも中国製兵器をロシアに売るとは利点が多いと考えられます。
今回は中国が大型無人機 CH-4 を旧ソ連圏の某国に売の話です。

KDR 平可夫モスクワ特電：

ロシアの権威筋は、旧ソ連圏の某国が中国製の先進的な CH-4A 無人機を輸入する、と述べた。中国製無人機 CH-4 はすでに他の国にも大量に輸出されている。しかし同権威筋は、理由を述べず某国の名前を公表することを拒否した。中国の無人機メーカーもまたコメントを拒否した。

現在、UAE、サウジアラビア等の国家が CH-4 を装備し、実戦にも使用している。CH-4 は、CH-4A と CH-4B の 2 種類があり、搭載重量はそれぞれ 115KG、345KG であり、滞空時間は、それぞれ、30 時間、12 時間である。行動半径は 250KM で、時速はそれぞれ 235KM と 210KM である。CH-4A は主として偵察、目標地点評定、目標照射 (DESIGNATION)、電子戦、通信中継を行う。またデジタル地図の製作、戦場管理の機能を有し、EW、SAT 通信、SAR レーダー用懸架ポッドを取付けることができる。

CH-4B は攻撃型で、一般的には、2 種類の UAV は同時に購入されるはずである。

同国の武器装備購入の動向から見て、さらに多くの旧ソ連圏国家が中国製武器の購入に動く可能性がある。モスクワの権威筋は、**KDR** に次のように述べた：「ロシア軍も中国製攻撃型無人機の購入について検討中である。」まずテスト用に少量輸入する」と。軍の権威筋はこのように述べた。

シリア戦争では、ロシア空軍は無人機による攻撃能力の必要性を痛感した。ロシア空軍は大量の対地攻撃ミッションを SU-24 及び SU-34 型前線爆撃機を使用して行ったので、作戦コストが高かついた。

KDR は、ロシアが無人機等の輸入について中国と交渉を始める可能性がある、と考える。

以上